

令和7年度 南伊豆町立南伊豆中学校 グランドデザイン

＜南伊豆町＞

【確かな学力を身につけるさとに誇りと自信を持つ心豊かな子どもの育成】
「ふるさとを愛し、心豊かな人を育む」

【地域に根ざし小規模校のよさを生かした魅力ある学校づくりを支援する】

「学校再編を少子化の象徴と捉えるのではなく、新たな町づくりの礎とするべく発想を転換する」(統合により、新たな学校文化の創造を目指す。活躍できるステージを増やす)

＜静岡県＞

【基本理念】

未来を切り拓く人材の育成と
社会を生き抜く力を育む教育の実現

基本理念の実現に
向けた取組方針

- ・未来を創造する力を育む教育の推進
- ・誰もが活躍できる社会を目指す教育の推進
- ・地域ぐるみで取り組む教育の推進
- ・学びを支える基盤づくり

学校教育目標
**自分の力を最大限に
発揮する生徒**

令和8年度 統合南伊豆中学校

【校訓】

「自立・創造・協働」

学校経営目標Ⅰ

学びを自分ごととして捉えられる生徒

(1)授業改善の推進

～考えぬくことができる授業づくり～

- ・生徒の興味・関心を引き出す導入
- ・考えたくなる問いの設定
- ・考えぬくことができる単元構想や授業の終わり方
- ・総合的な学習の時間の授業づくりを研修の柱として行う。

(2)基礎学力の向上と読書推進

- ・毎朝読書時間を確保、学習コンテストの実施
- ・ICTの活用による「個別最適な学習」の実践
- ・学習支援、学習相談の推進(個に応じた学習)

(3)ネイティブALTの活用

- ・積極的なコミュニケーション活動の推進

(4)町ICTアドバイザーとの協働

- ・ICT環境を整え、ICTをより日常に、より利便性を高めるものとして活用

(5)検定等の推進

- ・漢検や英検など各種検定への挑戦を推進

学校経営目標Ⅱ

自ら正しい判断で行動し、

認め励ましあう生徒

(1)生徒会活動の充実

- ・四本柱(掃除、合唱、行事、挨拶)を充実させ、発展できるようにビジョンを共有
- ・自分たちの生活を自分たちで改善していこうとする自浄作用を持った集団づくりを目指す
- ・地域貢献活動を推進し、町のために活動できているという自己有用感を持つ

(2)学級集団の熟成

- ・所属感に溢れ、互いの良さを認めあえる集団
- ・係、担当を通し、責任感・所属意識の育成

(3)自律を意識させる支援

- ・規範意識を大切に、自分の行動をコントロールできる判断力の育成(TPOを意識した行動)
- ・進んでチャレンジし、やり抜く力の育成
- ・全教職員と生徒が「いじめはぜったい許さない」という意識を共有(人権意識の向上)

自分から チャレンジ めいっぱい

学校経営目標Ⅲ

心身ともに健康で、自他を認め

正しい価値観で自ら意志決定できる生徒

(1)たくましい心身の育成

- ・同じ目的に向かって、互いに鍛え合う人間力の育成
- ・地域部活動の推進

(2)積極的な外部機関との連携・相談

- ・外部機関(児童相談所等)との連携協力
- ・福祉や病院等との情報交換

(3)保護者とのより良い連携

- ・たより等を通し、「認め・褒める」表れの発信
- ・些細な表れでも保護者と共有し連携を深める

(4)登校不安や不登校傾向への対応

- ・SC、SSW、教育相談員等の効果的な活用
- ・学校生活アンケートや教育相談を通した生徒の困り感の把握
- ・ケース会議や日常的な情報共有を通した予防的生徒支援

(5)キャリア教育の推進

- ・こ小中高の連携
- ・外部人材を積極的に活用した職場体験の充実

目指す教師像

- ・「楽しさ」「できる喜び」を教え、「わかる授業」「達成感」を味わえる授業を目指す教師
- ・「一人も取り残さない」よう、個別最適な学習を掘り下げられる教師
- ・生徒の「主体性」を育むために「確かな見取り」の上で「協働性」を持ちながら「挑戦」できる環境を整えられる教師
- ・生徒と「ビジョン」をシェアリングでき、丁寧に生徒の「達成感」を成就させる教師
- ・生徒と「共に活動し、挨拶や言葉遣い、行動など自らで教えられ、教師のようになり、学校の様子を積極的に発信する」と共に、生徒・保護者・地域の声に耳を傾け、頼られる教師
- ・生徒のため「やるべきこと」を厚くしながら、利便性を出し「合点」を関係者(教員、生徒、保護者)の「声」を聞き、(慮)を築き、(気)を利かして動く教師(慮)を築き、(気)を利かして動く教師
- ・自分の良心に従って、自己制御能力を高め、生徒の人権、自分の家族も大切に